

# ◆ Part05 : 学びに対する意識・将来観/社会観

【42】

- 建学の精神／3ポリシーの認知 (p.43) ……「知っていて理解している」は3割に満たない
- 大学による支援の利用 (p.44) ……各種の支援や相談を利用する割合が高まっている
- 大学満足度 (p.45) ……21年の「満足している」は55.6%、個別サービスの満足度は向上
- 学びの充実度 (p.46) ……「充実している」は微減。2020年のときの充実度が低い
- 成長実感 (p.47) ……他の学年と比べて2020年度入学生の成長実感が低い
- 姿勢・態度 (p.48) ……16→21年で、「困難を糧に」が7.0pt.、「困難に挑戦」が6.6pt.増加
- 将来観 (p.49) ……16→21年で、「チャレンジする仕事をしたい」が6.0pt. 増加
- 自己認識 (p.50) ……16→21年で、「自分に誇りをもっている」が4.0pt. 増加
- 自他の関係 (p.51) ……16→21年で、「自分の考え・意見をもっている」が4.0pt. 減少
- レジリエンス (p.52) ……16→21年で、「幸せだ」「人生が面白い」が7.5pt.減少
- コロナ禍の影響 (p.53) ……プラス4:どちらでもない3:マイナス3

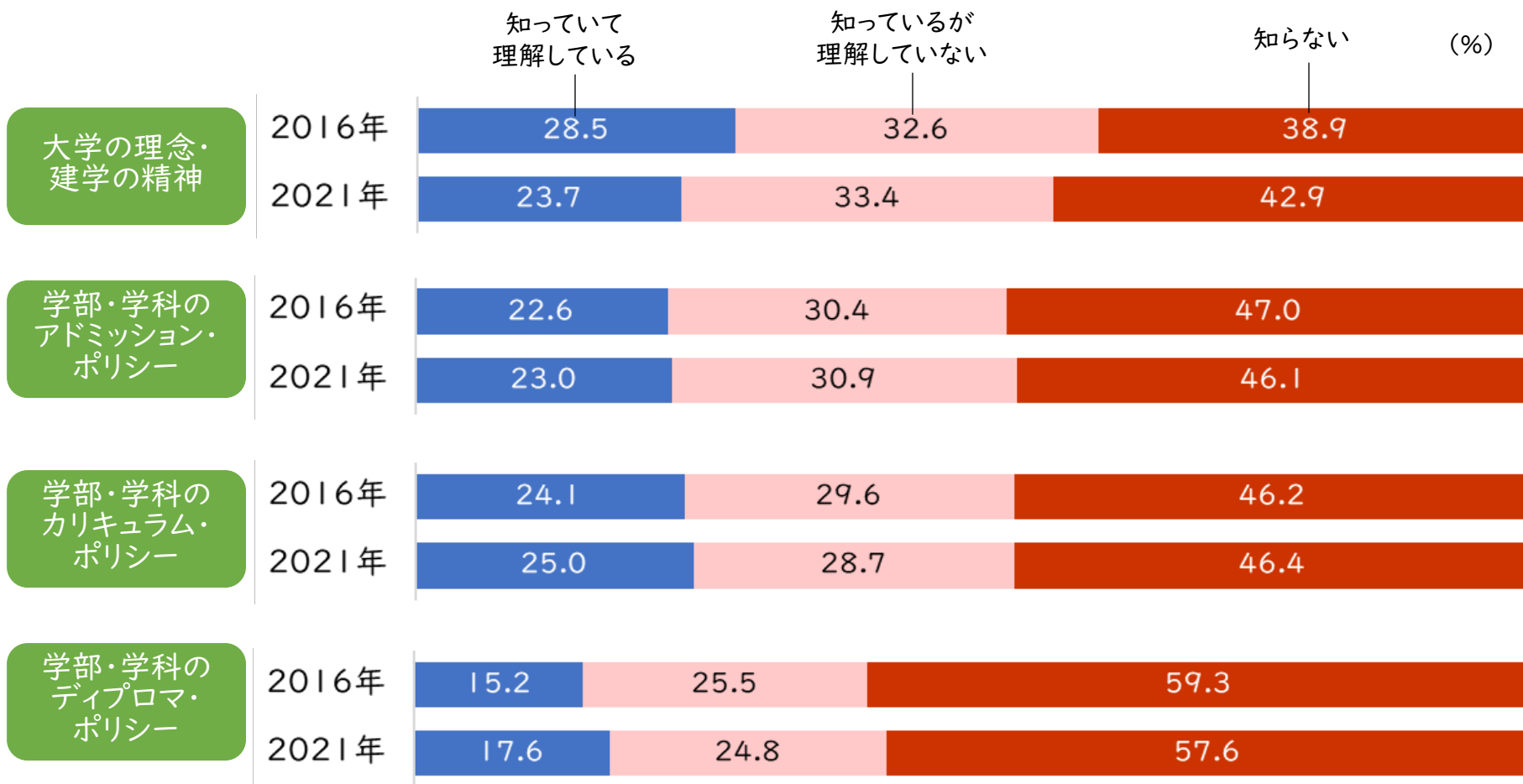


## ◆建学の精神／3ポリシーの認知

【43】

●3ポリシーについて「知っていて理解している」は3割に満たない

◆現在通っている大学の理念についてどのくらい理解していますか。



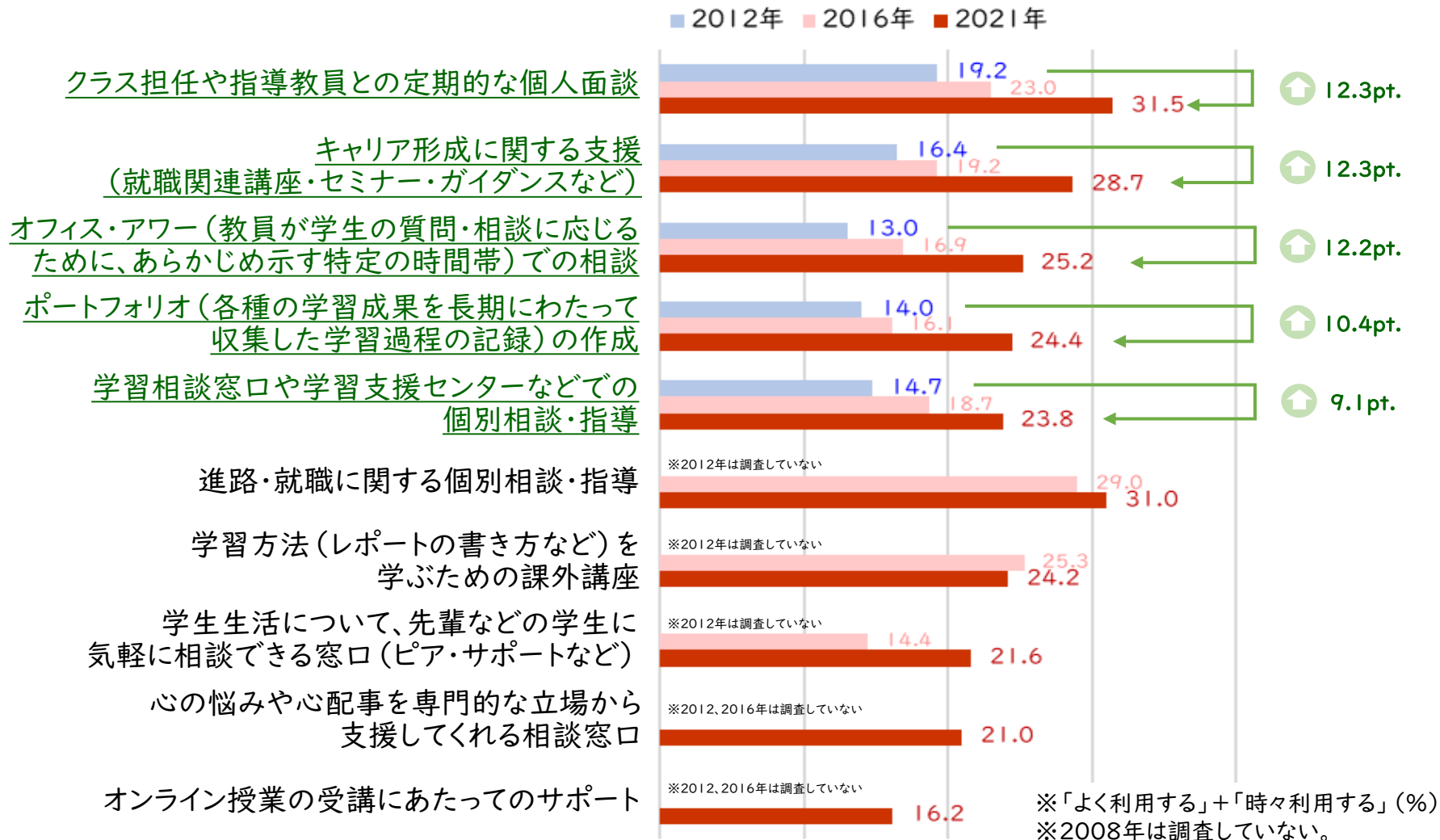
※2008年、2012年は調査していない。

◆16→21年にかけて学生の認知は広がっていない

# ◆大学による支援の利用

●大学が準備する**各種の支援や相談**を利用する割合が**高まっている**

◆あなたは、次のような学生に対する支援環境をどの程度利用していますか。



# ◆大学満足度

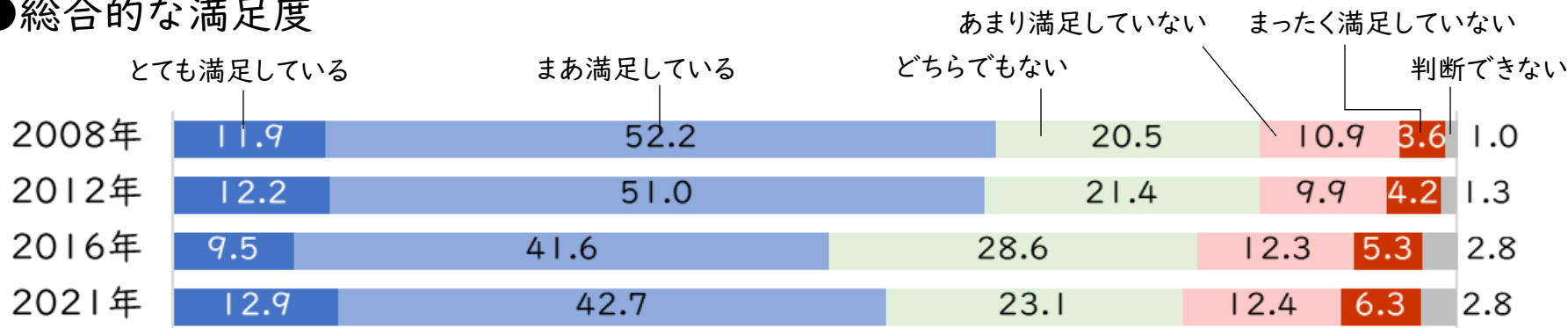
【45】

●21年の「満足している」は55.6%、個別サービスの満足度は向上

◆現在通っている大学について、どのくらい満足していますか。

(%)

## ●総合的な満足度



## ●個別サービスの満足度

施設・設備 (図書館、ラーニングコモンズ、インターネットの利用など)

教員 (専門性の高さやよい影響を受けるなど)

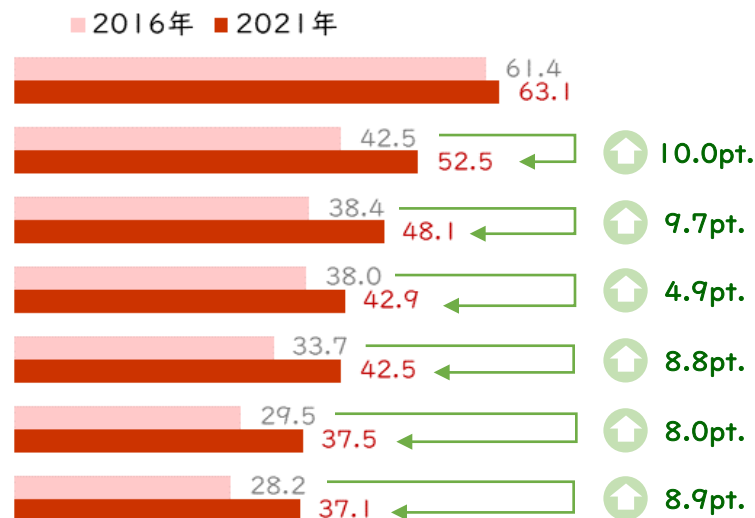
授業・教育システム (教育内容やカリキュラムなど)

進路支援の体制 (就職セミナーやガイダンスなど)

資格試験や語学への支援 (特別講座や説明会など)

職員 (教務窓口での対応など)

経済的支援の体制 (奨学金制度や授業料免除制度など)



※「とても満足している」+「まあ満足している」(%)。2008年、2012年は調査していない。

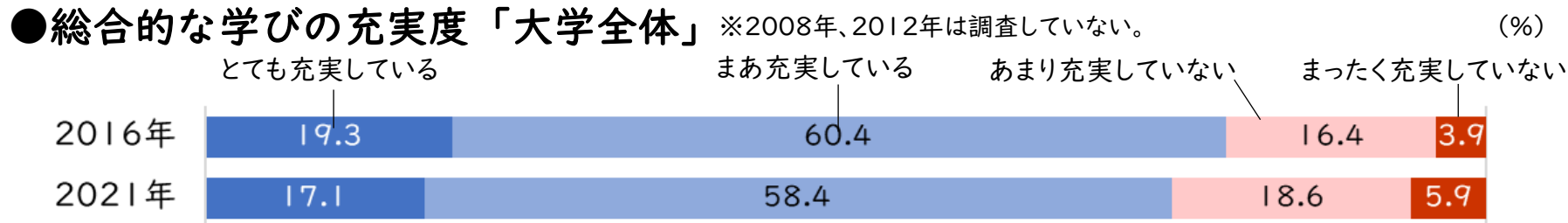
※選択肢は、「とても満足している」「まあ満足している」「どちらでもない」「あまり満足していない」「まったく満足していない」「判断できない」の6択。

# ◆学びの充実度

【46】

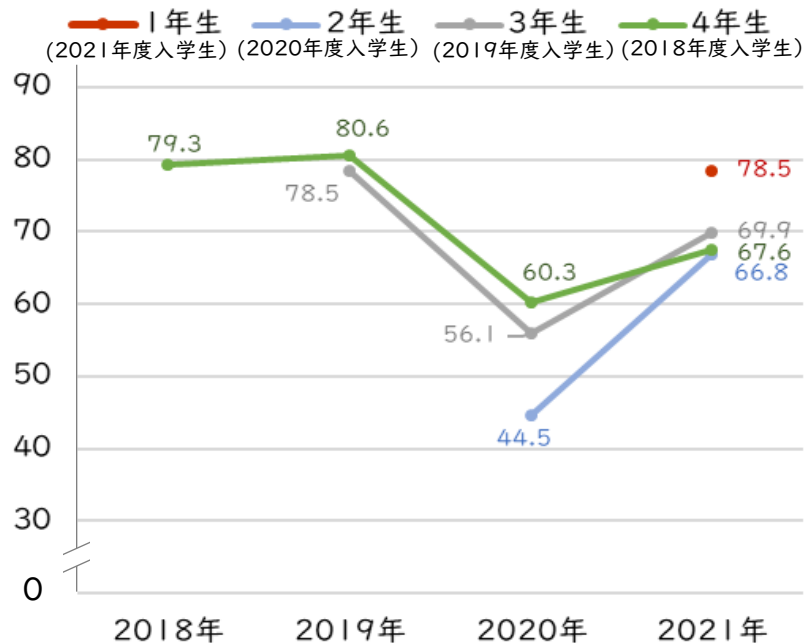
●「充実している」は微減。2020年のときの充実度が低い

◆大学の各学年における学びの充実度について、あてはまるものを1つお選びください。



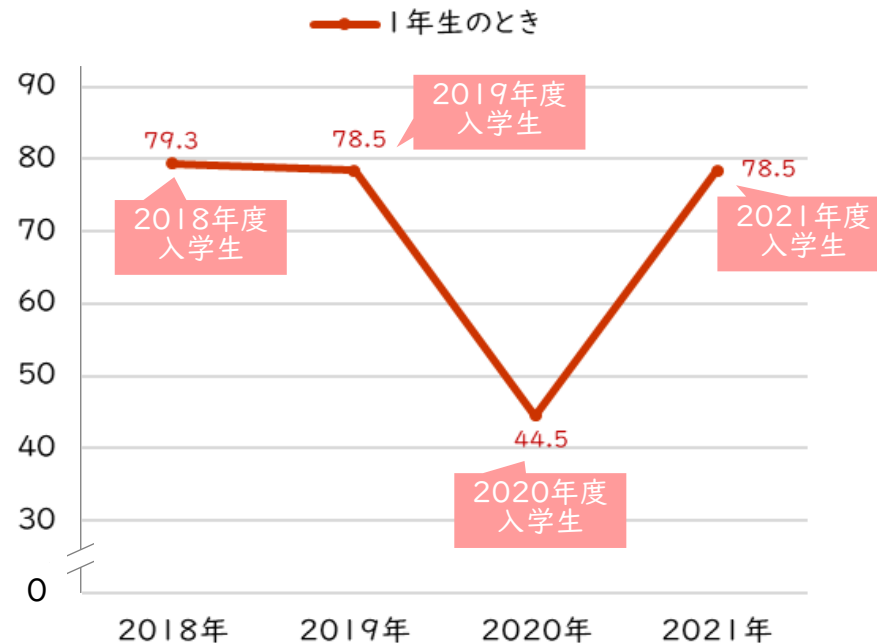
## ●学びの充実度（学年別）

※「とても充実している」+「まあ充実している」の合計(%)



## ●1年生のときの「学びの充実度」

※「とても充実している」+「まあ充実している」の合計(%)

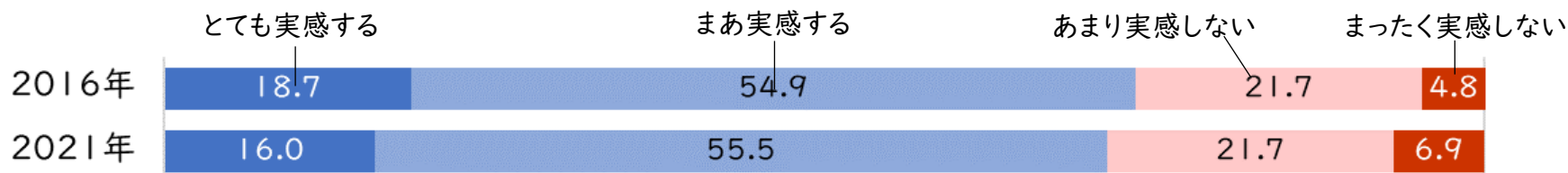


# ◆成長実感

## ●他の学年と比べて2020年度入学生の成長実感が低い

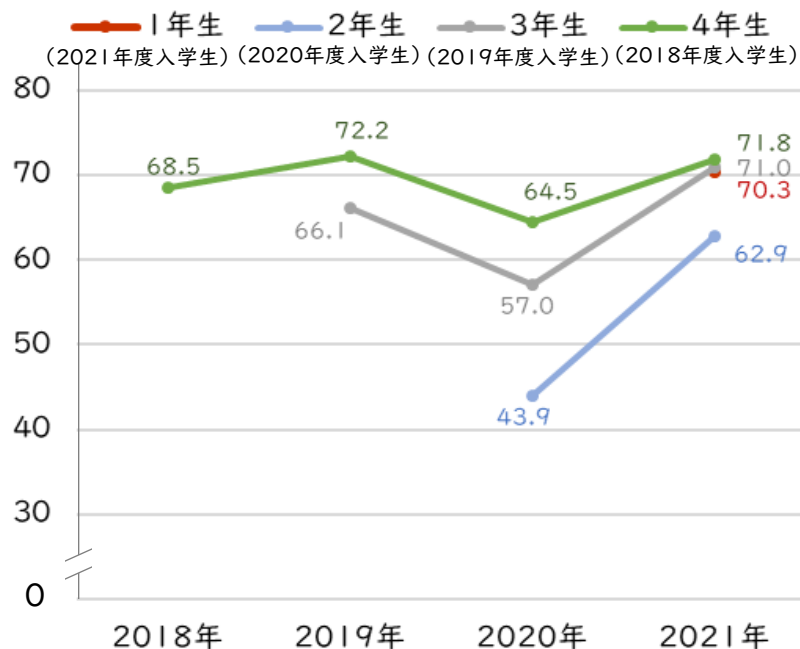
◆大学の各学年における成長実感について、あてはまるものを1つお選びください。

### ●成長実感「大学全体」 ※2008年、2012年は調査していない。 (%)



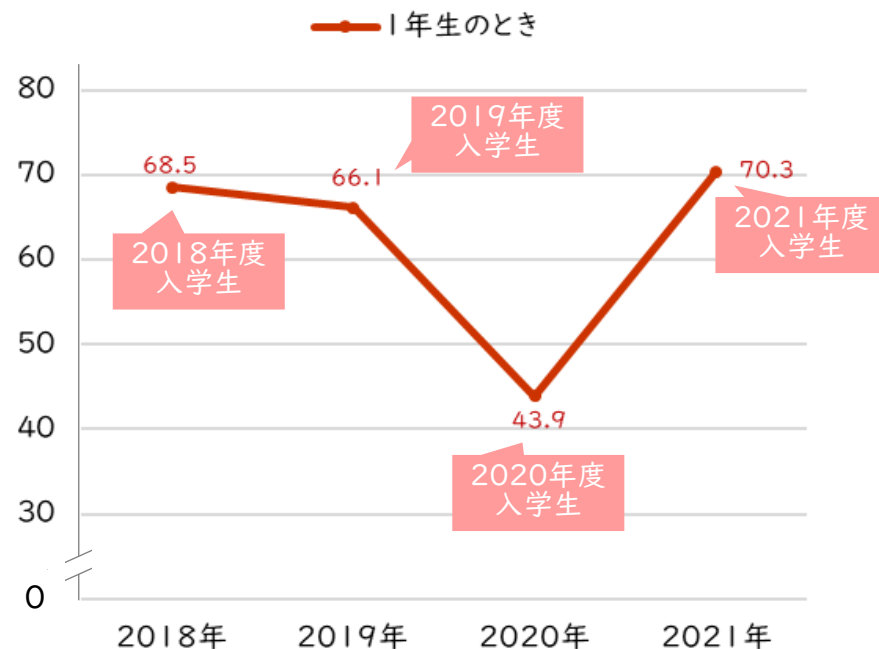
### ●成長実感（学年別）

※「とても実感する」+「まあ実感する」の合計 (%)



### ●1年生のときの「成長実感」

※「とても実感する」+「まあ実感する」の合計 (%)

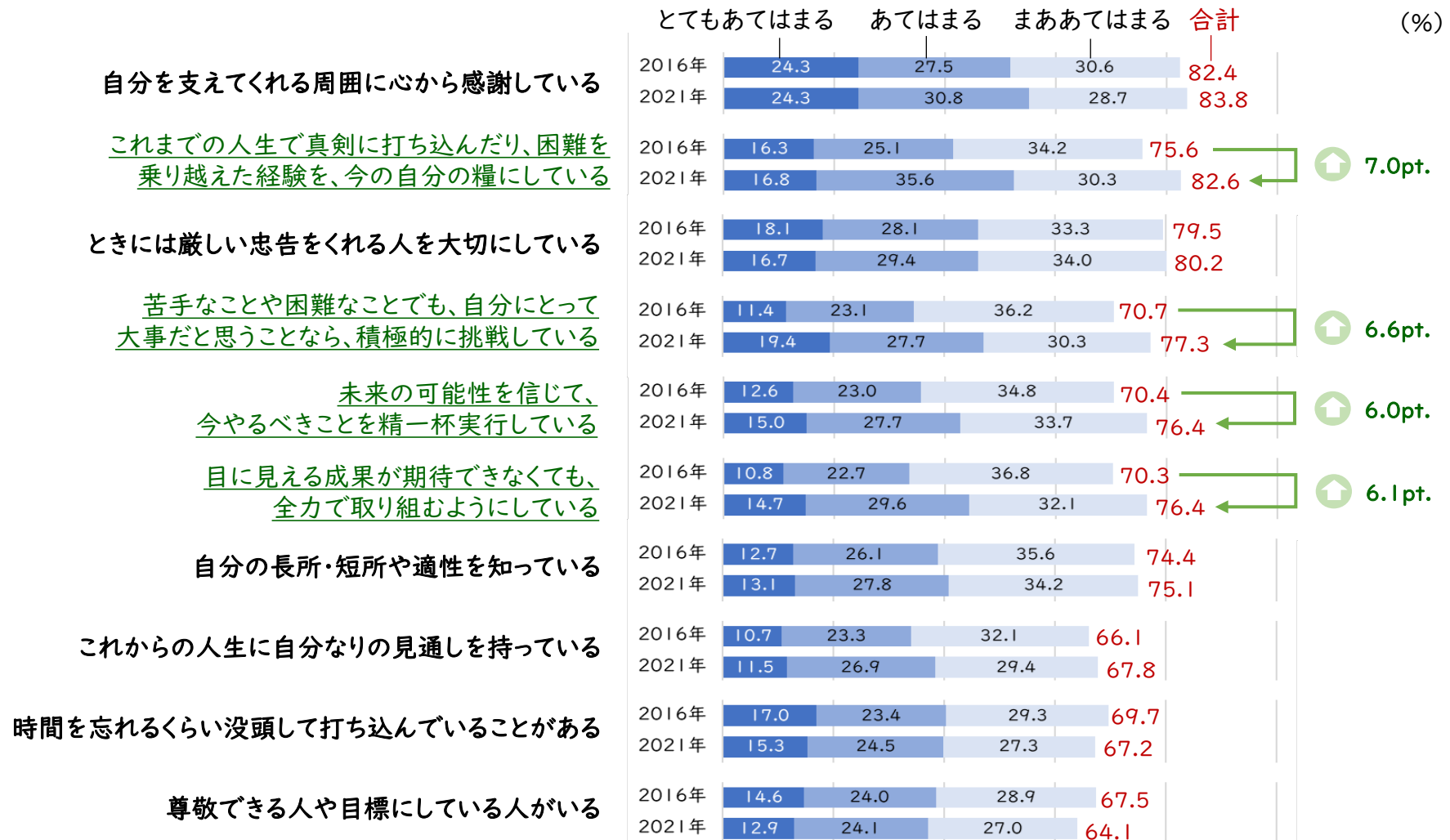


## ◆ 姿勢・態度

【48】

● 16→21年で、「**困難を糧に**」が7.0pt.、「**困難に挑戦**」が6.6pt.増加

◆ あなたは次のようなことについてどう思いますか。



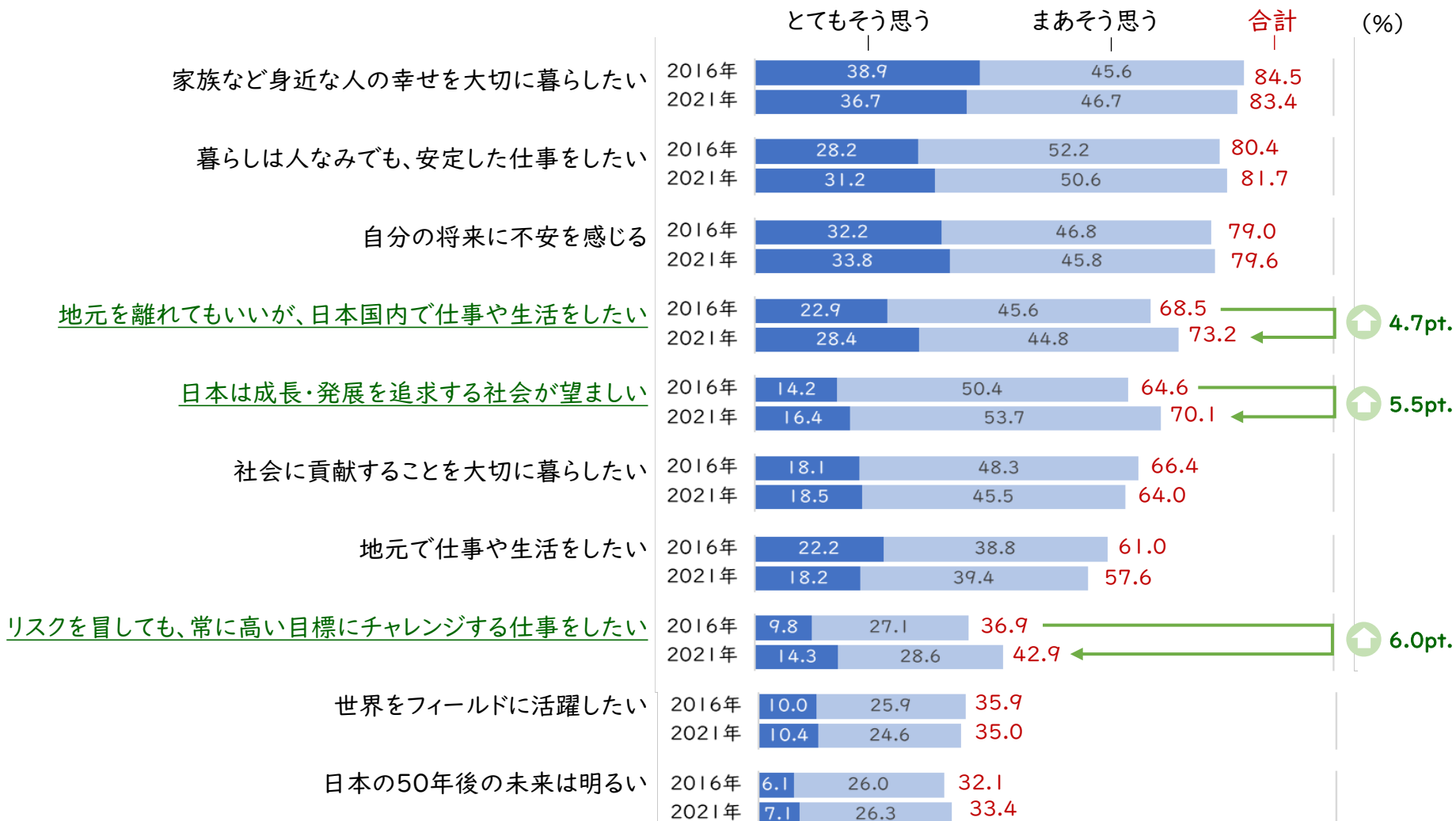
※2008年、2012年は調査していない。

## ◆将来観

【49】

●16→21年で、「チャレンジする仕事をしたい」が6.0pt. 増加

◆あなたは次のようなことについてどう思いますか。



※2008年、2012年は調査していない。

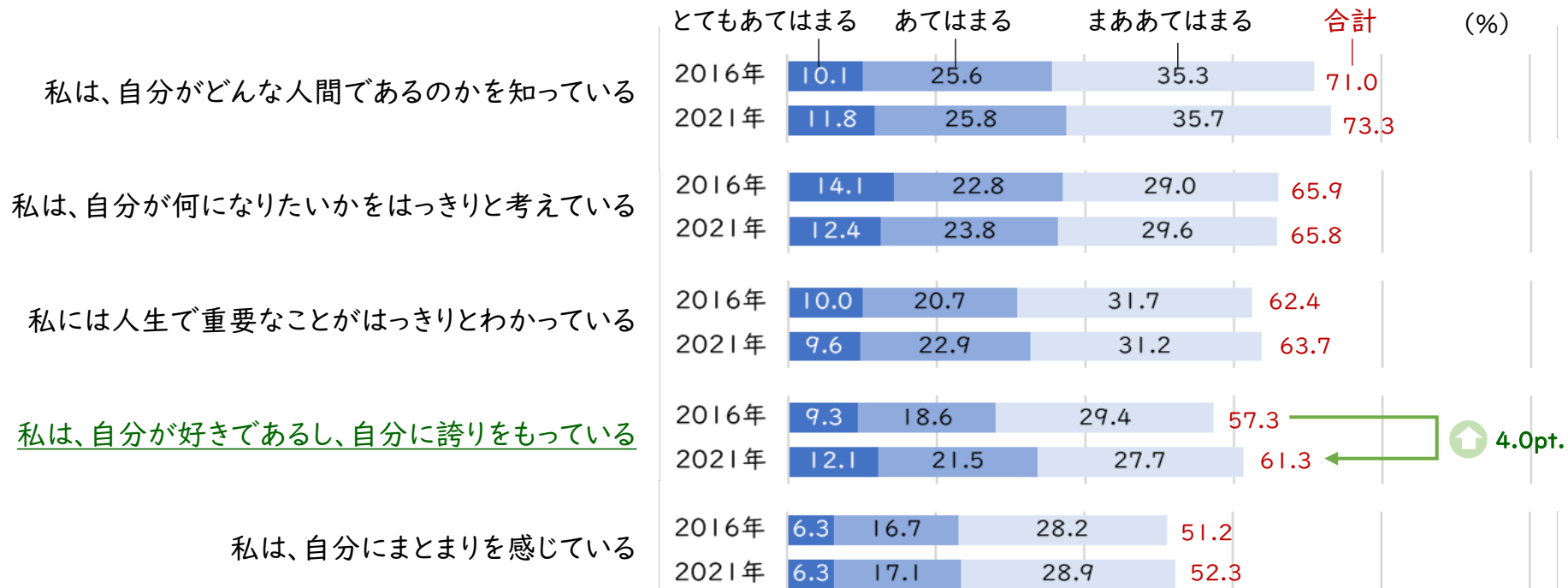


## ◆自己認識

【50】

●16→21年で、「自分に誇りをもっている」が4.0pt. 増加

◆あなたは次のようなことについてどう思いますか。

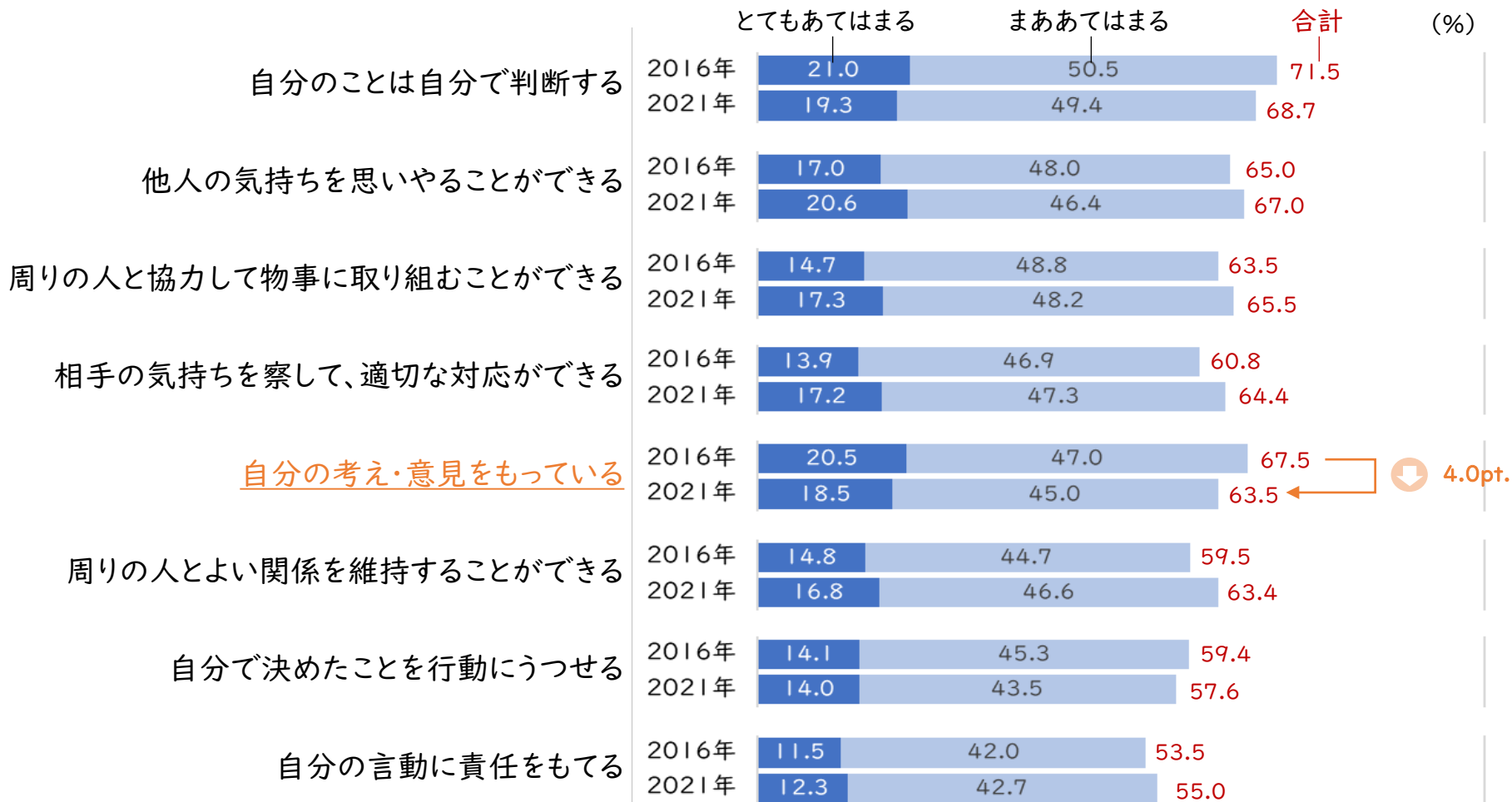


※2008年、2012年は調査していない。

# ◆ 自他の関係

● 16→21年で、「**自分の考え・意見をもっている**」が4.0pt. **減少**

◆ あなたは次のようなことについてどう思いますか。



※2008年、2012年は調査していない。

※選択肢は、「とてもあてはまる」「まああてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の5択。

## ◆レジリエンス

【52】

## ●16→21年で、「幸せだ」「人生が面白い」が7.5pt.減少

◆あなたは次のようなことについてどう思いますか。

ものごとが思ったように進まない場合でも、  
あなたはその状況に適切に対処できる

ここ数年やってきたことを全体的に見て、幸せだ

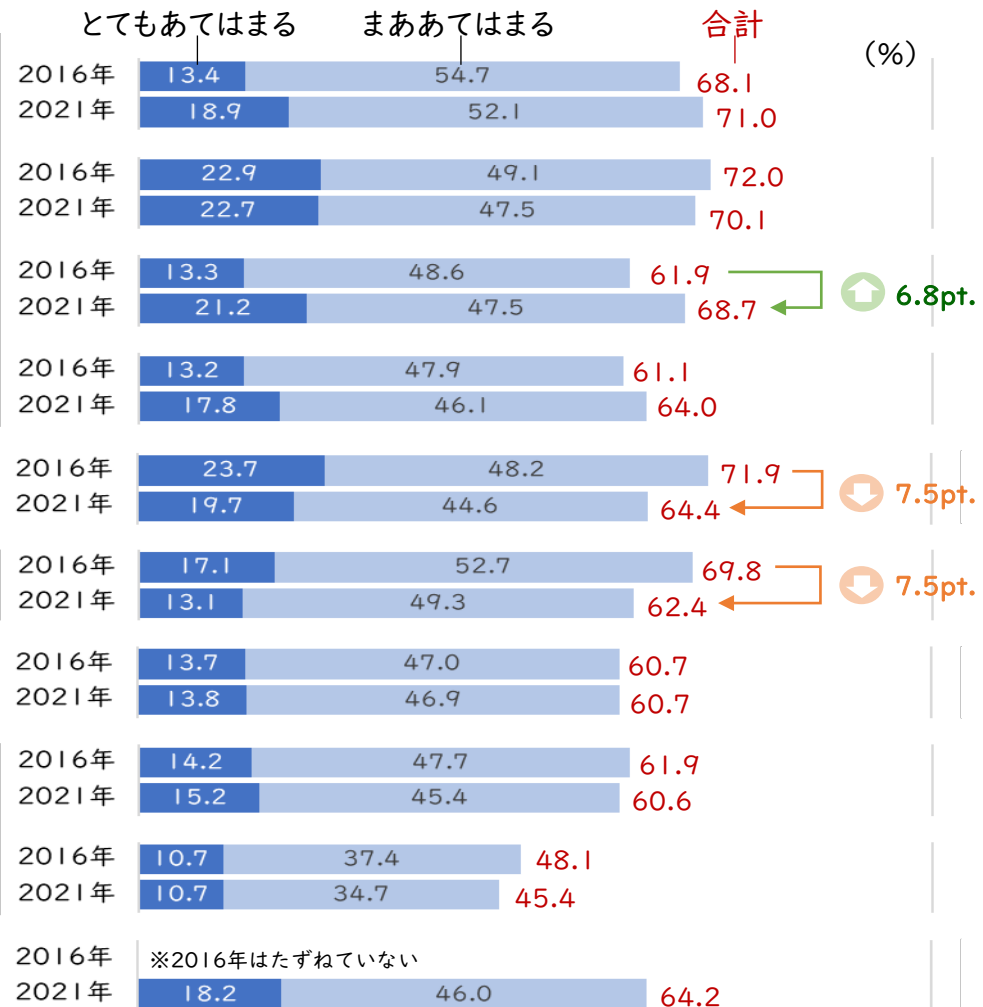
危機的な状況(人生を狂わせるようなこと)に出会ったとき、  
立ち向かって解決していける今の調子でやっていけば、これから起きることに  
も対応できる過去と比較して、現在の生活は幸せだ人生が面白い

自分がやろうとしたことはやりとげている

これまでの学生生活(学習や部活、人間関係など)は  
成功している

期待通りの学生生活を手に入れた

コロナ禍は新しいことを始めるチャンスだ



※2008年、2012年は調査していない。

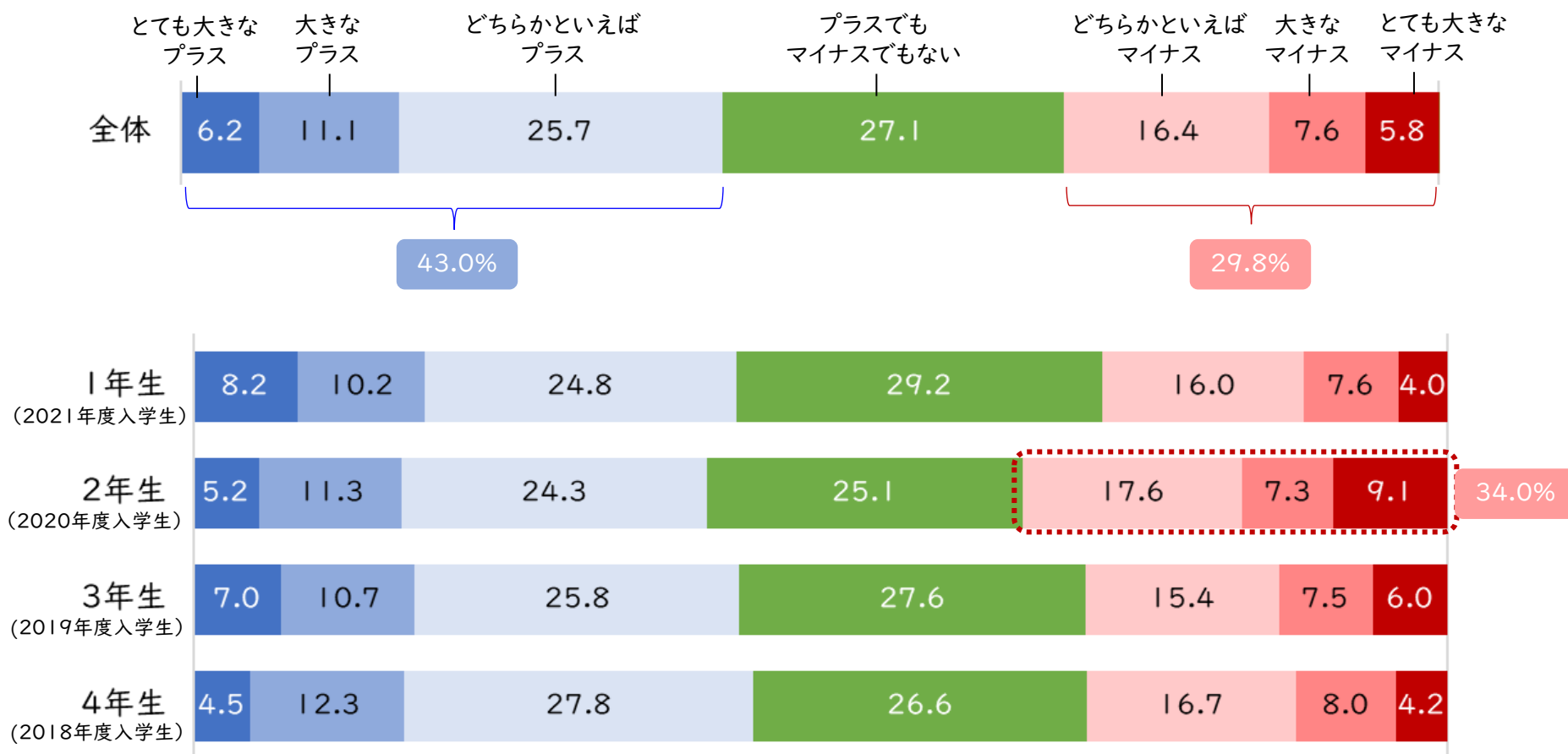
# ◆コロナ禍の影響

【53】

●プラス4：どちらでもない3：マイナス3。2年生でマイナスが多い

◆今回の新型コロナウイルスの感染拡大に伴ういろいろな出来事は、あなたにとってどのような影響を与えましたか。

(%)



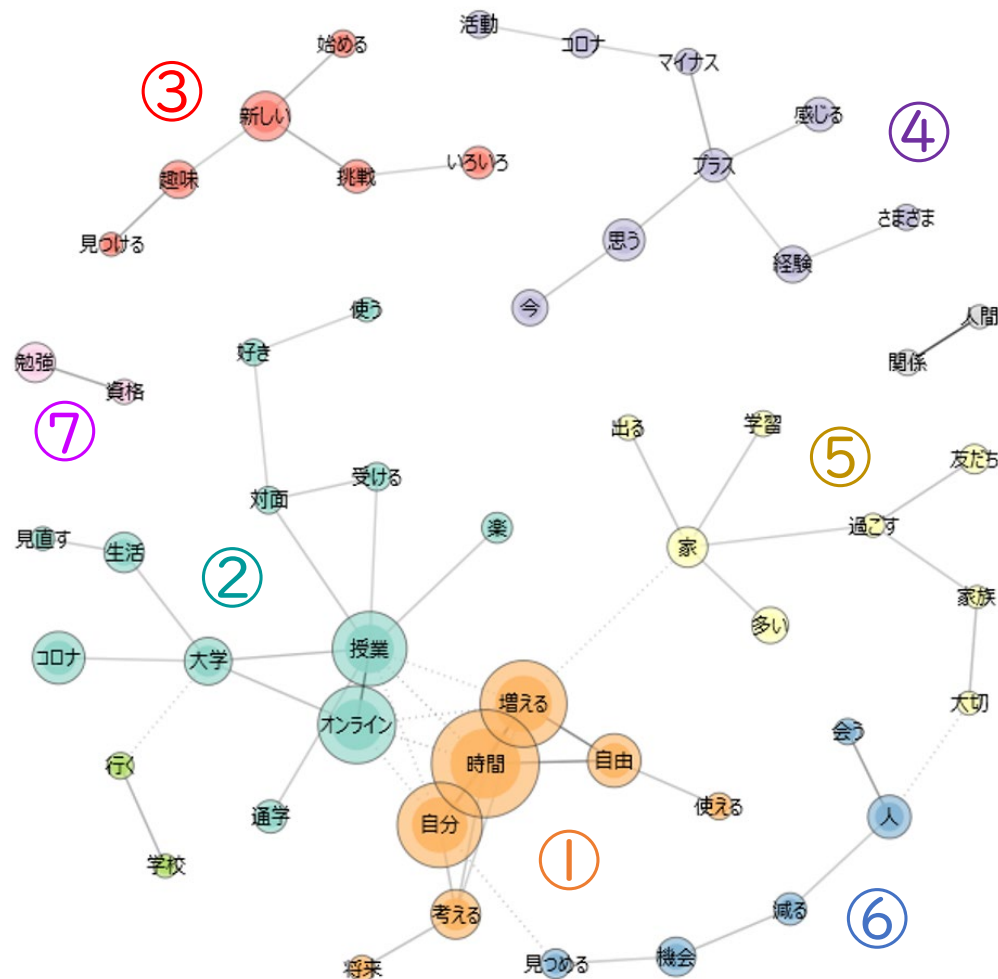
※2021年調査のみの質問。

# ◆コロナ禍の影響—自由記述分析①

【54】

## ●コロナ禍の影響（p.53）に対して「プラス」と回答した学生

### ◆KH Coder（樋口2020）による共起ネットワーク分析の結果



### ●コロナ禍の経験が「プラスだった」と回答した学生の自由記述の主な結果

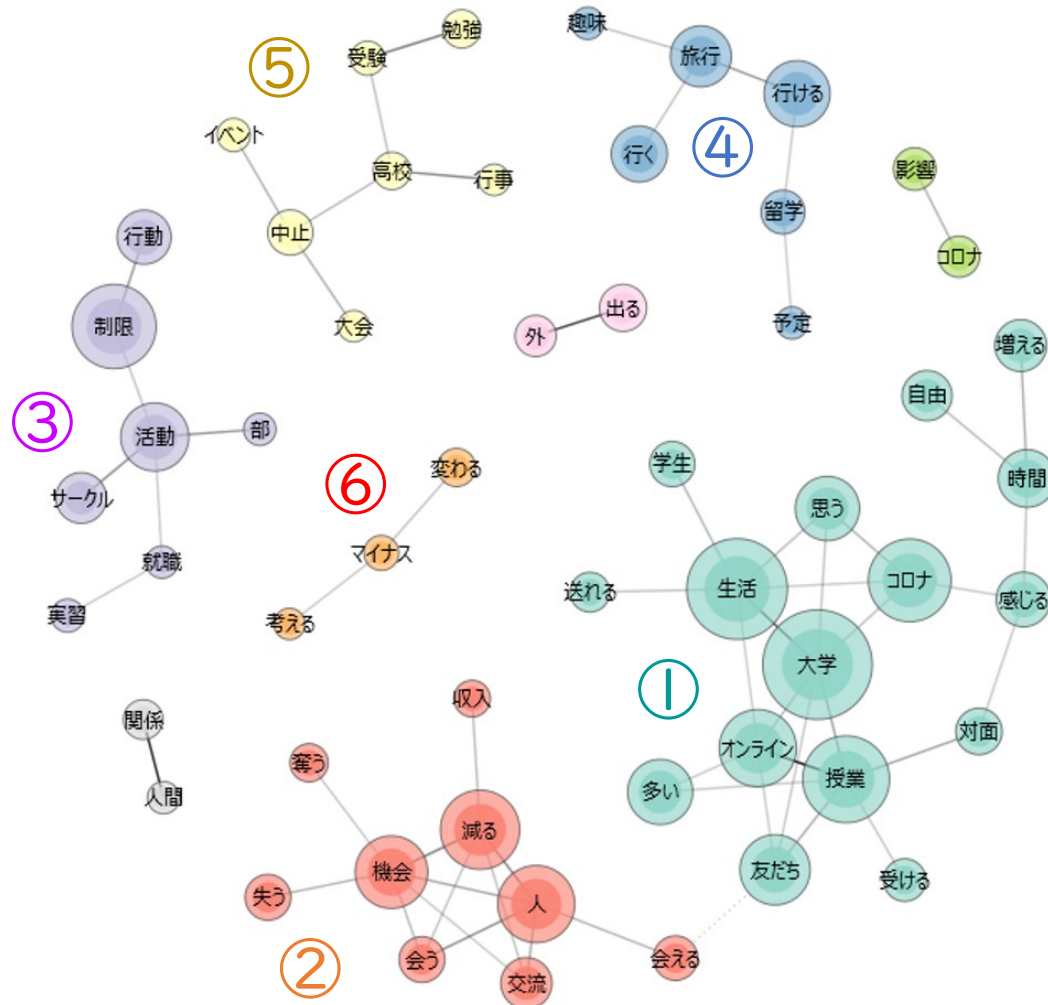
- ①自分の自由になる時間が増えた結果、将来や進路を考える機会になった
- ②コロナ禍で大学の授業がオンラインになり、それが自分に向いている、通学しないことが楽だと感じる
- ③いろいろな趣味や挑戦を行うきっかけになり、新しい趣味を見つけたり始めたりした
- ④コロナ禍にはプラスもマイナスもあったが、今になるとさまざまな経験や活動ができたと感じる
- ⑤家で過ごす時間が長く、外に出ることがなくなり、学習時間が増えるとともに、家族や友だちと過ごすことの大切さを感じた
- ⑥人と会う機会が減り、自分のことを見つめ直すことにつながった
- ⑦資格を取得するための勉強ができた

# ◆コロナ禍の影響—自由記述分析②

[55]

## ●コロナ禍の影響（p.53）に対して「マイナス」と回答した学生

### ◆KH Coder（樋口2020）による共起ネットワーク分析の結果



### ●コロナ禍の経験が「マイナスだった」と回答した学生の自由記述の主な結果

- ① コロナ禍で大学の授業はオンラインの授業が多くなり、自由な時間は増えたが、大学生活が変わった（オンライン授業に対するネガティブ反応は多数）
- ② 人と会う機会や交流が減った
- ③ さまざまな活動（サークル活動や就職活動など）に制限がかかった
- ④ 旅行に行くなどの趣味の機会や留学をする機会などがなくなってしまった
- ⑤ 高校での受験勉強がうまくいかなかったり、行事やイベント、大会などが中止になったりした
- ⑥ 生活面でマイナスになったり、考え方がマイナスになったりした（精神的に大変だったという回答が一定数あり）

※樋口耕一 2020 『社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して— 第2版』 ナカニシヤ出版